

PaKoMa

DIY工房

納得のいく工具で
こだわって作る本格DIY

中島先生と作る

100枚収納 DVDストッカー

コンパクトなボックス型で

CDやDVDがきっちり大量に収納できる

こんなストッカーがあれば、

デスクまわりもスッキリ片付きそうですね。

制作指導は、日本日曜大工クラブの中島先生、

取材協力ホームセンターはムラウチホビー秋川店です。

指導



日本日曜大工クラブ会員
中島 清先生

電動工具



NEW
充電 マルチ
インパクトドライバー
EZ6507



NEW
充電
インパクトドライバー
EZ7206

《工具協力》松下電器産業(株)



上ぶたは折りたたみ式に全開し、下段は引き出し式。
コンパクトなのに大量収納できるスグレモノ。

パコマ 2007年12月号掲載

◎薄い板や細かい細工には、細工ノコが便利。
◎カット後の、サイズのわずかな調整や、仕上げの面取りには豆カンナがあると便利。



◎ツマミの取り付けは、ツマミと本体両方に下穴をあけておいて、引き出しの内側から手回しドライバーでネジ締め。

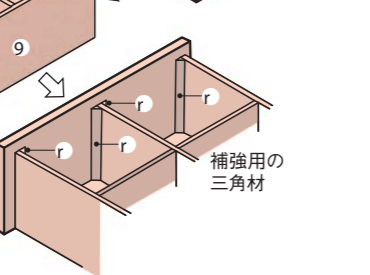
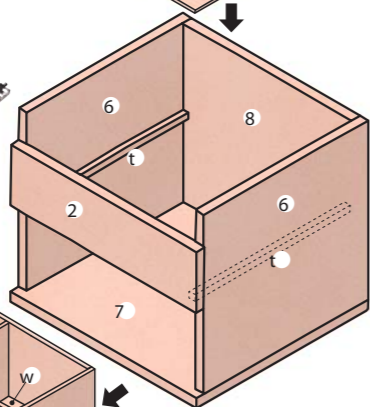
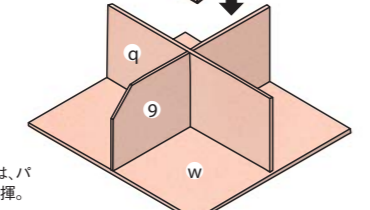
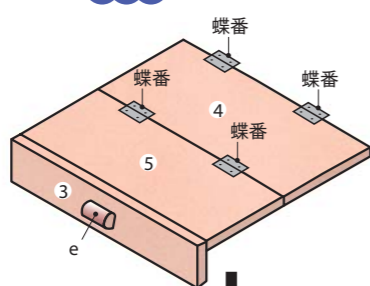


◎木ネジを締める時の下穴あけにはマルチインパクトドライバー、木ネジ締めにはインパクトドライバーを使用。マルチの方は1台で二役するスグレモノ。
◎木材の直線カットには、パワーカッターが威力を発揮。

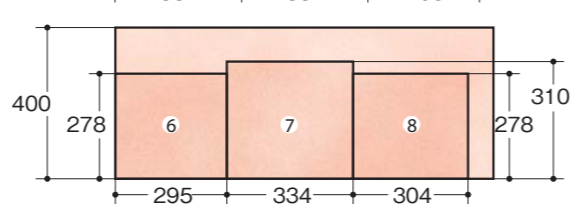
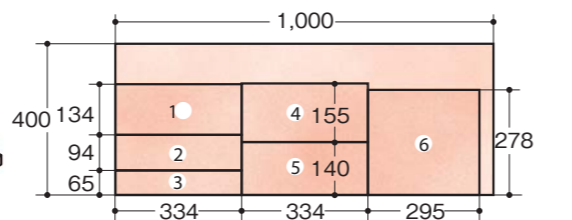


マルチインパクトドライバー インパクトドライバー

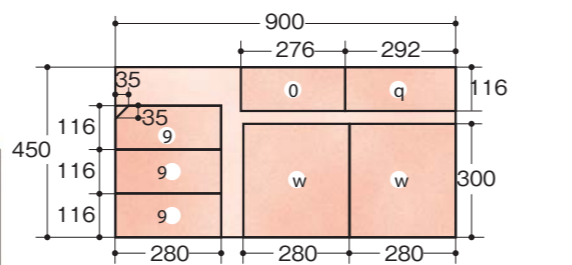
寸法図 (単位ミリ)



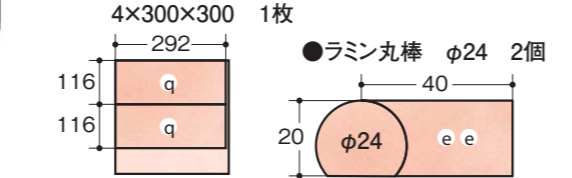
●パイン集成材 15×400×1,000 2枚



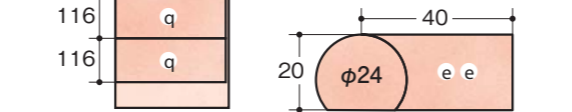
●シナベニア 4×450×900 1枚



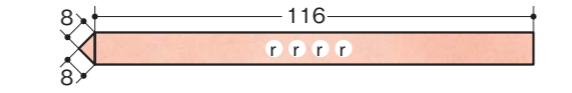
●シナベニア 4×300×300 1枚



●ラミン丸棒 φ24 2個



●ヒノキ三角棒材 4本



●ヒノキ角材 10角 2本



取材協力 / ムラウチホビー 秋川店
電動工具 / 松下電器産業(株)

こだわりの
ポイント

今まで100個以上の箱物を作ってきたという中島先生のこだわりポイントは...



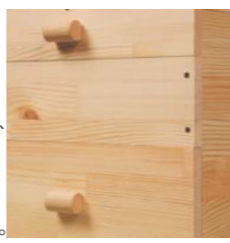
四角にこだわる

四角いものを入れる器を四角く作ること。どこまでも四角にこだわって、四角の美しさを表現することです。1ヵ所でも丸い部分を作るとデザインのバランスが崩れてしまいます。ところが、四角の角をきっちり作るとは意外に難しいのです。サイズを正確にとると、1ヵ所組み立てることにより直角を確かめながら作ることに注意しながら作っていきましょう。四角いものを入れる器を四角く作ること。



木目の美しさを生かす

木材を使う場合、それぞれの材の個性である木目を生かすことにこだわります。1枚として同じ木目はなく、それは人の指紋のようです。今回のような集成材の場合は、特に寄木のようなモザイク調のおもしろさがあり、木のパッチワークのような表面模様を楽しむことができます。白木なので、仕上げにクリアラッカーを塗っておくと汚れ防止やキズ防止になります。



工具・用具

- ①電動工具(パワーカッター、マルチインパクトドライバー、インパクトドライバー) ②モノサン ③木工用ボンド ④カナヅチ
- ⑤サンドペーパー(#180-#240) ⑥鉛筆 ⑦カネジャク
- ⑧ドライバービット(下穴あけ用、プラス) ⑨キリ
- ⑩豆カンナ ⑪木ヅチ ⑫鉄鋼ヤスリ ⑬細工ノコ



7 天板の後部と上ぶたをつなぐ蝶番を付け、背板と天板も蝶番でつなぐ。



8 下段の引き出しを作る。底板のセンター位置に印を付け、十字の仕切り板を木工用ボンドで付ける。引き出しの角に補強用の三角材を接着する。ラミン丸棒でツマミを作り、裏面から木ネジで締めて取り付ける。



9 上段の中棚も、底板に十字の仕切り板を接着して、棚受けにのせる。最後に、木の角を豆カンナで軽く面取りし、全体にサンドペーパーをかけて完成。



材料

- ①木材/パイン集成材・シナベニア・ヒノキ三角棒材・ラミン丸棒(φ24)・ヒノキ角材(10角)
- ②蝶番(30)×4 ③木ネジ(35)



4 木材に図面どおりにスマ付けて、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえると便利。カットした後の木口を、サンドペーパーで磨いておく。



5 前板の中央部を取り付ける。

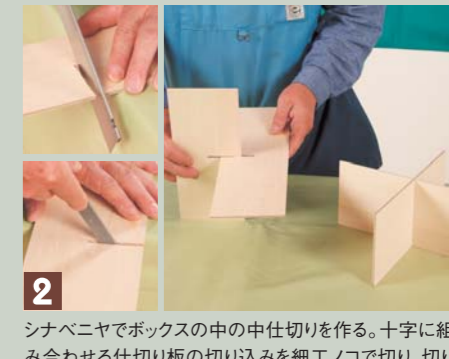


6 棚板受けの角材を木工用ボンドで接着する。

デザイナーはシンプル&コンパクト作りは、しっかり・カッコリしたDVDストッカー
箱物がきっちり作れたら本格派。引き出しがスッキリはまらたらプロ、といわれるくらい箱物作りにはキャリアが必要。今回は中島先生の指導、ムラウチホビー秋川店のベテランDIY担当・下田さんのアドバイスで、引き出し付きの箱物作りを紹介。組み立てのネジ締めには、ドリルドライバーにもインパクトドライバーにもスイッチ一つで切り替えられる、マルチインパクトドライバーや、パワフルなインパクトドライバーが活躍します。



1 木材に図面どおりにスマ付けて、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえると便利。カットした後の木口を、サンドペーパーで磨いておく。



2 シナベニアでボックスの中仕切りを作る。十字に組み合わせる仕切り板の切り込みを細工ノコで切り、切り口を鉄鋼ヤスリがけしておく。



3 底板、側板、背板をボックス型に組み立てる。マルチインパクトドライバーの下穴用ビットで下穴をあけてから、インパクトドライバーで木ネジを締める。